

第2回 がん対策の推進に関する意見交換会

終末期医療を見つめるリフォレスト

「モラルを与えたまえ」
「緩和と介護をよろしく」

2006.12.13

森 勇香

「終末期」にまつわるあれこれ 1

「終末期医療を見つめるリフォレスト」は
がん関係団体として唯一「安楽死・尊厳死の法制
化を阻止する会」に発足集会から賛同し、難病患
者・交通事故遺族の会・障害者の人たちと共に
「法制化」に反対してきました。

- 現在は「良い死！研究会」でもあり、学者・
メディア・司法関係者・医者・患者・障害者・家族・
遺族がMLで意見を交換しています。

「終末期」にまつわるあれこれ 2

- 2006.1.9

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
「特定疾患者の生活の質(QOL)の
向上に関する研究」報告会

「尊厳死と自己決定権」の演題の結論として
「法制化によらず」と言う文言が入った。

「医療の現場で・・・患者さんの理性的な判断を尊重するための手続きを確立する必要があるだろう」

「終末期」にまつわるあれこれ 3

- 厚生労働省「終末期医療の初の指針」(06.9.14)
「チームで方針決定・患者意思、文書に」(2006.9.15 読売朝刊1面)

治療方法の決定は、患者の意思を踏まえて、医療チームが行い、患者と合意した内容を文書化する。患者の意思が確認できない場合は、家族の助言などから最善の治療を選択する。また、(中略)合意に至らなかった場合などは、別途、委員会を設置し、討論することが必要……………。

生体移植について

- 骨髄移植(生体)
- 抹消血幹細胞移植(生体)
- 臍帯血移植
- その他、生体移植

これらの技術の向上と

更なるドナー保護を求めていく

脳死臓器移植について 1

- ・ 生命倫理によると脳死臓器移植とは間接的に人の命を奪って自分が生きることである。

しかし……

- ・ 患者の「生きたい」という思いは尊い
- ・ 現在、脳死臓器移植でしか延命できない患者さんもある。彼等の唯一の延命手段を奪うことはできない。

脳死臓器移植について 2

しかし.....

当会としては「賛成」という意思表示は出来ない。

- 「脳死判定基準」が曖昧
- 臓器不足の問題
- 大多数のがん患者の「死」とは「心停止」のこと
- がん患者が脳死臓器移植のレシピエントとなる可能性は低い
- がん患者はいかなる移植のドナーとなることを拒否できる

がん患者遺族から見て「？」なこと

- 末期の概念（治療方法がない・余命6ヶ月）
- 「治験」と「臨床試験」 一筆啓上
- がん患者と人工呼吸器
- がん患者に「脳死」はあるの
- がん患者はドナーになるの
- がん患者はレシピエントになるの

がん及び終末期にまつわる事件とモラル

- ・ フロリダ、テリ・シャイボさんの尊厳死
- ・ 射水市民病院「呼吸器はずし」のその後
- ・ 宇和島の病気腎移植 モラルの欠如 痛み分け
医師 ドナー（癌患者） レシピエント（透析患者）
- ・ 生命保険買取裁判の患者さん（金融・法）
C型肝炎、いじめ、退職、事業、肝癌発病、
生活の破綻、家の売却、治療費滞納
司法判断「X」……………移植？

Eメール reforest@khaki.plala.or.jp
HP <http://island.geocities.jp/reforest1962>
HPのdiaryからブログにアクセスできます

幸せとは明日に不安がないこと。

「終末期医療を見つめるリフォレスト」は
患者のもつ「生きたい」という「尊い死生観」を
広めるお手伝いをしています。

「こんな病気を患ってしまったけれど、
頑張って生きてきて良かった」と
思える社会と医療を目指します。

緩和医療・緩和ケア・介護 1

- 緩和キュア(初期 進行 末期 疼痛・だるさ)
- 緩和ケア(精神医学・心理学・哲学・司法・信仰)
例 キューブラー・ロス 死への5段階
- 在宅医療・介護
(オランダ麻薬事情・主たる介護者)
- ターミナル・セデーション
- 医療保険(生命保険の買取・自由診療保険)
- 社会保障(長期生存者が働いていくために)

緩和医療・緩和ケア・介護 2

- 介護保険（末期がん患者の年齢枠撤廃）
- 介護休暇及び介護時の就業シフト
- 重病の患者を介護できるヘルパー
- 緩和病棟（差額ベッド代）
- 緩和チーム（入院日数のしぼりH20改定）
- 拠点病院の緩和除痛率をあげる
- 緩和医療医・がん専門看護師の啓蒙
- 看取りの場としての医療機関
（ホスピス機能・老健）

完